

## 今日のトピック 世界の「投信マネー」 「北米」へ回帰する「投信マネー」

### 株式流入超過額は前月の約3倍へ拡大

- EPFRグローバル<sup>(注1)</sup>で世界の「投信マネー」の17年10月の資金フロー動向を見ると、株式ファンドは392億ドルと、前月（132億ドル）比で約3倍の流入超となりました。債券ファンドも345億ドルと前月（同296億ドル）より流入超過額が増加しました。

### 株式は「北米」が7カ月ぶりに流入超に転換

- 株式ファンドは、先進国全般に投資する「グローバル」が210億ドル、「北米」が122億ドル、「欧州」が35億ドルの流入超となりました。「北米」は7カ月ぶりの流入超です。
- 新興国全般に投資する「GEM<sup>(注4)</sup>」の流入超過額も51億ドルと前月（43億ドル）より拡大しました。一方、「新興国アジア（EMアジア）<sup>(注5)</sup>」が「中国」の流出増から▲7億ドルの流出超に転じました。ただ、「インド」は3カ月ぶりに4億ドルの流入超に転じました。

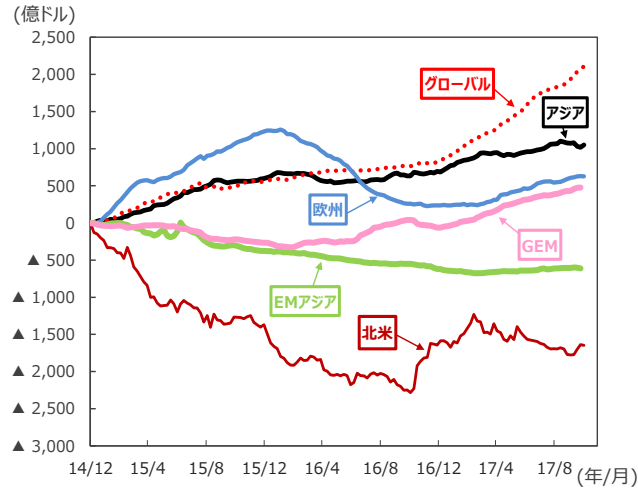
### 債券も「北米」を中心に流入超過額が拡大

- 債券ファンドは「北米」への流入が235億ドルと、前月（179億ドル）より増加しました。「欧州」は14億ドルの流入超と前月（2億ドル）より増加しました。
- 新興国への流入超過額は、50億ドル（前月61億ドル）でした。また、「EMアジア」が5億ドル（前月7億ドル）、「GEM」が41億ドル（前月52億ドル）の流入超過でした。「新興国アジア」の中でも「インド」には安定して資金が流入しています。今月も4億ドル（前月3億ドル）の流入超となりました。これで9カ月連続の流入超です。

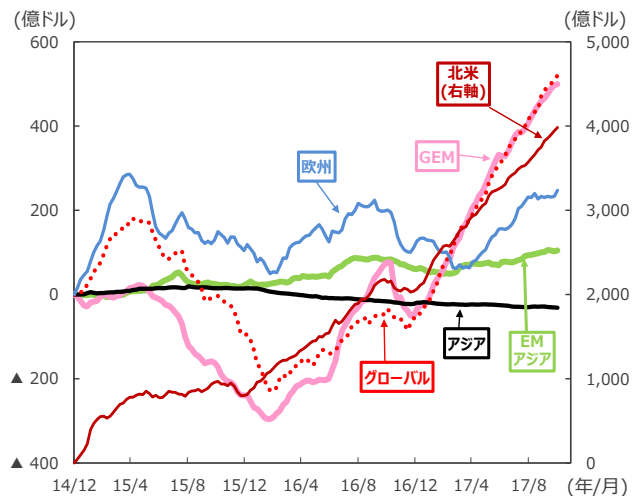
### グローバルで投資が拡大する局面へ

- 10月は、「北米」へと資金が回帰する形となりました。これは、米国の金融政策の正常化がゆっくりと進むと見られる中、好調な企業業績が株価を下支えしたことが背景です。今後は、世界経済がすそ野を広げつつ拡大していることや潤沢な流動性から、新興国を含む世界の株式や債券への投資が次第に拡大すると期待されます。

### 【主要地域別株式ファンドの資金フロー】



### 【主要地域別債券ファンドの資金フロー】



- (注1) EPFRグローバル：米国に本社を置く金融商品の調査会社。2017年9月末現在30.7兆ドル規模の世界のファンドの資金フローデータを持つ。  
(注2) データは2014年12月～2017年10月。週次ベース。2014年12月からの累計。  
(注3) 「アジア」は豪州、ニュージーランド、香港、シンガポール、日本。  
(注4) 「GEM」はGlobal Emerging Markets（世界の新興国市場全体に投資するファンドの総称）。  
(注5) 「新興国アジア（EMアジア）」は中国、インド、韓国、台湾、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、パキスタン、バングラデシュ。  
(出所) EPFRグローバルのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ここもチェック!** 2017年11月 2日 米国の金融政策（2017年11月）  
2017年10月30日 米国のGDP成長率（2017年7-9月期速報値）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。